

令和元年度「小・中学校ジョイントスクール推進事業」下長中学校区実践計画書

事務局 下長中学校（教頭 鎌田 康由）

1 主題（1年次）

「自ら学ぶ子どもの育成のための小中連携の在り方はどうあればよいか」
～授業における発問や声掛けの仕方を通して～

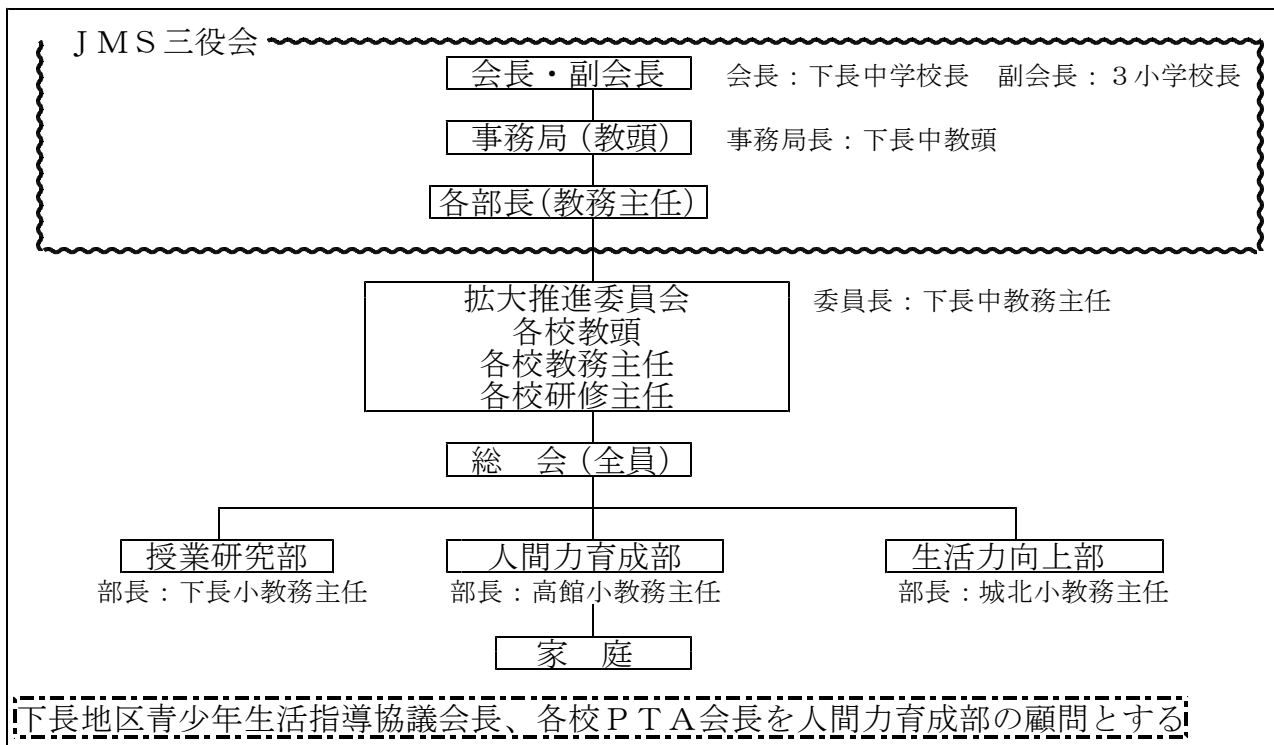
2 主題設定の理由

下長中学校区における小・中学校ジョイントスクール推進事業（ジョイントミーティング下長：略称JMS）では、現在まで様々な取組を行ってきた結果、小・中学校はどちらも落ち着いた生活ができています。

一方、子ども自ら学習に対して取組む姿勢は受け身が多く、やらされている感覚が強い。そこで、子どもたちが「勉強がおもしろい」「もっと学びたい」と思えるような課題設定と発問・声掛けを通して自ら学んでいく子どもを9年間のスパンで育てていきたい。

自ら学んでいくためには語彙力の向上が不可欠のため「読書・新聞の活用」を柱とし、子どもの表現力の育成に取り組んでいきたい。各校の実践状況を共有しながら小・中で共通して取り組んでいけることについての研究を進めていきたい。また、「家庭学習ができる」については、自主学習ノートの充実を図り、子どもたちが進んで学んでいける仕掛けを考えていきたい。「気持ちのいいあいさつができる」については、これまで同様に各学校と地域の青少協と連携しながら、年3回あいさつ運動を軸にしながら取り組んでいきたい。この三つを柱に、小・中連携開始時から掲げられてきた「力ある『いい人間』になるための5原則」への取組により「生活力を高める」指導を基盤として、子どもたちに確かな学力を育成したい。

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

下長中学校区 重点指導項目

- ① 読書・新聞を読んで活用できる
- ② 家庭学習ができる
- ③ 気持ちのよい返事やあいさつができる